

2014 年 7 月 5 日（土） 垣花樋川（南城市玉城村）

体験記者：ささら人（酒々楽人）

【訪問記】

梅雨の明けた 7 月の沖縄は日差しが痛い。

今日はビーチでなく垣花樋川でチビ達を水浴びさせることにしました。

国道 331 号から案内版を頼りに進んでいくとわずかながらの駐車スペースがあり、さらに案内版に従い、木陰の歩道を歩くこと数分。

水音とともに子供たちの声が聞こえてきました。



石畳を降りていくと、



海を背景に水場が現れました

辿りつくと、直径 5 m 位の水溜まりに 4～5 人の子供たちがバシャバシャはしゃいでいます。

木陰にベンチも設置されていました。着替えることもなく早速そのまま水の中へ、真夏の暑さに水の冷たさが心地よく海風も吹きぬけます。



家族連れが遊んでいます

服の濡れも気にならなくなった頃、子供らは嫁に任せて水源探索に。

水たまりに差し込む二筋のうち、まずは右側を上がっていくとすぐに樋から流れ落ちるところにつきま。よく写真でみかける樋川です。樋の上流はと目を這わすと岩の隙間から流れ出してくる様子が見えます。台地に降った雨が地中にしみこみ、岩の割れ目に沿って流れてきているのでしょうか。



左手前の水溜まりが右側の筋となって下の水溜りに流下

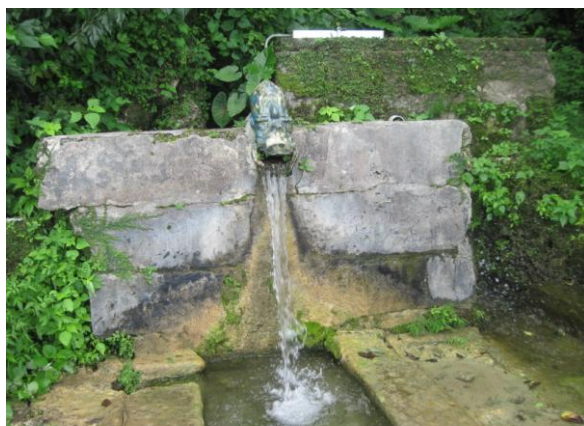


右側の筋をたどると樋川に

もう一筋の左側は苔生す斜面を滝のように流れ下っています。歩道を上がって遡ると程なく龍樋が現れます。もっと上の方からパイプで導水されているようで、近くに簡易水道施設のような小屋も見られました。



滝状に流れ込む左側の筋（コケは触らないでね）



遡ると龍樋に

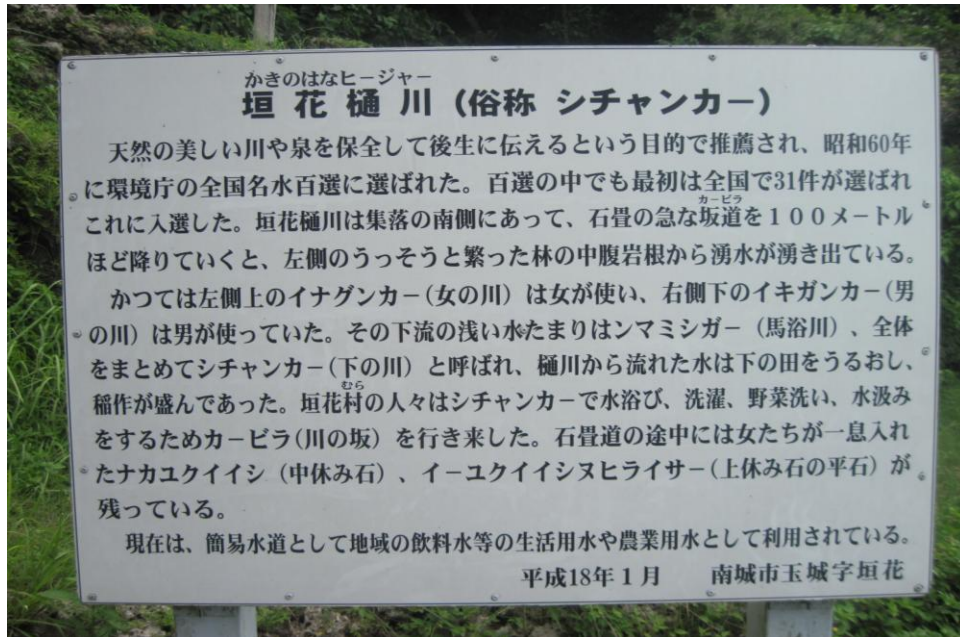
道すがらの看板に垣花樋川の解説がありました。

降りてきた石畳の坂道沿いの林の中腹の岩根から湧き出ているとのこと。

左側上のイナグンカー（女の川）、右側下のイキガンカー（男の川）、下流の水たまりンマミシガー（馬浴川）、全体まとめてシチャンカー（下の川）と呼ばれるそうです。

かつて樋川から流れた水は稲作の水田をうるおし、垣花村の人々はシチャンカーで水浴び、洗濯、野菜洗いをし、水汲みをするため石畳の坂を行き来したそうです。

環境省の全国名水百選にも選ばれています。



石畳の坂道沿いにある説明板

2時間ほど遊ばせてから子供たちを水から引き離し、来た道を引き返して車止めへ。
 おそらく地域の皆さんがきれいにしておいて戴いているのだと思いますが、車止め周辺には結構ゴミが捨てられていました（拾ってもちかえりました）。来訪者のマナーが気になります。

聞くと、週末は家族づれでにぎわうそうで、平日にもそこそこ来訪者がいるようです。
 それほど大きな場所でなく、駐車スペースも限られているので平日に子供を遊ばせるのによさそうに思いました。

【周辺情報】

所在地：南城市玉城字垣花

交通：那覇バスターミナルより 39 番百名線で約 40 分、垣花停留所で下車、徒歩約 5 分

駐車場：駐車スペース 2～3 台

トイレ：無し

概略位置図：

